

科目名 Course Name	海外研修Ⅱ Overseas Study II			ナンバリング No.	A2-022		
年次	1・2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	堤 裕美子						
連絡先(質問等)	講義棟3階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	D2、D5、D6						
授業の概要と 到達目標	海外研修の心得を学び、その上で研修先の社会生活に関する学習を重ね、2月に現地で観光、施設訪問、スポーツ観戦等の日常生活を経験し、異文化体験を行う。 ①国際的な感覚を体得できるようにする。 ②外国の現代社会を自らの体験から捉えることができるようにする。 ③外国の観点から日本社会を考える機会を持ち、自らの価値観に反映させることができるようにする。						
授業の方法	事前指導の中の英会話屋国際マナーを確認し、一週間ほど現地で施設訪問や日常生活体験をする。						
学習成果	L01						
	L02	外国と比較した時の、日本の特徴を見い出せるようになる。					
	L03						
	L04	国際的な感覚で現代の社会を考察することができるようになる。					
課題に対する フィードバック	課題に対する理想回答として模範例を示す。内容に関しては評価を各自に伝える。						
教科書/ 参考図書							
履修上の留意点 やルール等	海外旅行前の手続きは遅れないよう留意し、渡航先では安全と健康に注意し団体行動のルールを心がけること。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前指導に休まず、会話等の準備を積極的にする。		20		
レポート/作品	研修中の経験を良く考えて、思慮に富んで洞察力に満ちたレポートを書く。				40
発表					
小テスト					
試験					
その他	海外にいる間、団体およびグループ活動の態度が良く、学習的な雰囲気を提供する。				40
合 計			20		80

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(研修概要・渡航手続・研修先での諸注意)
	事前・事後学習	研修出発日までのガイダンス、各種手続申し込み締め切り日をスケジュールに組み込む。
2	授業内容	目的地の自然環境・歴史・文化・経済等の概略。渡航手続。
	事前・事後学習	学習成果をノートにまとめ、どんな文化、歴史を持つ場所を訪れるのか認識を持つ。
3	授業内容	トラベル英会話(飛行機の中で)。渡航手続。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
4	授業内容	トラベル英会話(現地の空港手続)。渡航手続。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
5	授業内容	トラベル英会話(外食:レストランにて/ファストフードにて)。渡航手続。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
6	授業内容	トラベル英会話(ホテルにて)。渡航手続。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
7	授業内容	トラベル英会話(買い物をする時に知っておくと便利な表現)。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
8	授業内容	トラベル英会話(現地の人や観光客と楽しく短い会話を楽しむ表現・気軽な挨拶の仕方)。
	事前・事後学習	学習した英会話を復習し練習する。
9	授業内容	現地での活動について(異文化への理解と国際マナー)。
	事前・事後学習	異文化理解について疑問点をまとめる。
10	授業内容	現地での活動について(ホテル滞在のマナーとルール・部屋での防犯について)。
	事前・事後学習	フロントに電話をかける英会話を復習し練習する。
11	授業内容	現地での活動について(ショッピングを楽しむ:交渉/お釣りについて)。
	事前・事後学習	アメリカドルの紙幣、硬貨を復習し、見慣れておく。クレジットカードの紛失への対処をメモしておく。
12	授業内容	現地での活動について(オプションツアーについて)。
	事前・事後学習	オプションツアーについて事前に調べ有効な時間を過ごせるよう計画する。
13	授業内容	現地での活動について(防犯の基礎知識・万が一の連絡方法について)。
	事前・事後学習	留守宅用のしおりを家族に必ず渡し、緊急連絡先のページを確認してもらうこと。
14	授業内容	反省会
	事前・事後学習	発表の準備をする。
15	授業内容	研修レポートの発表
	事前・事後学習	自分の発表の成果および参加者の発表を聞いて国際理解を深める。